

令和7年度 コミュニティかすみ 事業報告

1、重点の目標・課題（地域ニーズを含む）

<重点の目標>

『利用者の地域移行への受け皿、地域移行に向けた支援、高齢化していく利用者の支援』に努めます。

<重点の課題>

- ①・地域移行の受け皿
- ②・高齢化していく利用者の支援
- ③・日常生活の支援強化
- ④・設備改修
- ⑤・GH 統合、整備
- ⑥・人材育成・支援力の強化

2、事業・活動実施にあたっての具体的な取り組み

<重点の課題>

① 地域移行の受け皿

- ・ GH からの地域移行に向け 1 人暮らしを目指す利用者の支援に取り組んだ。（一人暮らしの体験、居住先の選定等）
- ・ GH 入所希望者の体験受け入れ 3 名。3 名とも新規入所につながる。

② 高齢化していく利用者の支援

- ・ 65 歳に近い利用者、65 歳を過ぎた利用者と保護者それぞれに介護保険制度の説明を個別に行い理解を求めた。65 歳以降の生活スタイルについて共に考えイメージを持ってもらえるように取り組んだ。
- ・ 相談支援専門員と連携し、関係機関とも支援方針を協議。介護サービスの利用について取り組んだ。
- ・ 職員間で 65 歳を過ぎている利用者について介護保険制度の利用を含め今後の支援についてケース会議を定期的実施。

③ 日常生活の支援強化

- ・ 食事の提供については、支援を要する利用者に対して時間帯を工夫し見守りを強化し安全面に配慮した。
- ・ 物価高騰、食材費の負担を軽減できるよう材料、調味料等の工夫、配膳の見直しを行った。
- ・ 公共交通機関の減便、IC カードや無人レジの普及に対し、利用者個人ごとに乗り換えや通勤ルートの検証、機械利用の練習を行った。
- ・ スマホの安全な利用についての勉強会に参加。

④ 設備改修

- ・ トイレ、水道、ドア、温水器等共同部分の老朽化による故障が多かった。

- ・ 洗濯機、乾燥機、エアコン等の故障、経年劣化による修理、買い替えも多くなってきた。

⑤ GH 統合、整備

- ・ 8事業所あるグループホーム統合に向けた取り組み。
- ・ 職員の効率的な勤務形態、配置（勤務時間帯、勤務形態、雇用形態）を見直し新年度に向け準備を進めた。

⑥ 人材育成・支援力の強化

- ・ 定期の個別支援会議、不定期ではあるが、高齢化対策、GHあり方検討、意思決定支援、運営検討の各PTによる委員会を実施。
- ・ 世話人を含めた法人内研修、special Learningの活用、外部主催の研修の受講への参加。受講した研修については、コミュニティ会議にて伝達研修を実施。
- ・ 1ヵ月毎に提出されたヒヤリハット報告書、事故報告書を職員全体で共有し検証を行い再発防止に努め、検証された再発防止策についても振り返りを実施。
- ・ 毎月コミュニティ会議とまちなかホーム世話人会議を実施し支援について協議、情報共有を行い必要に応じケース会議を開催。職員を「まちなか」「コミュニティ」にグループ分けし各々で検討会議を実施することできめ細かい生活の改善、支援内容の確認、統一した支援に取り組んだ。
- ・ 研修会への参加

日程	研修内容	会場
6月9、10日	北陸地区知的障害者福祉協会施設長会議	福井
7月17、18日	北陸地区知的障害者福祉協会職員研究大会	石川
9月18日	全国グループホーム等研修会	山形
10月22日	県知的障害者福祉協会職員研修会	福井
10月	強度行動障害支援者養成研修 [実践]	福井
10月3日	坂井地区障がい児・者事例検討会	福井
10月16日	働く人のための心の健康セミナー	福井
10月22日	福井県知的障害者福祉協会施設職員研修会	福井
11月8、9日	全国自閉症支援者協会福井大会	福井
11月17日	北陸地区地域支援部会・相談支援部会合同研修会福井大会	福井
2月6日	福井県知的障害者福祉協会加算勉強会	福井
2月28日	三団体合同研修会	福井

3、その他の取り組み

- ・ 地域連携推進会議の開催

6月23日に地域連携推進会議を開催。地域との連携、共生を図るために坂井市社協、地区民生委員、保護者代表、利用者代表と共に見学、懇談会を実施。

- ・ スポットワーク（タイミー）を活用し職員業務補助につなげた。（9月～1月）

利用者支援の取り組み

① 日常生活支援

- ・ 整容・清潔面

歯磨き、洗顔、髭剃り、整髪、衣類調整、身だしなみなど障がい特性に応じて個別に取り組む（絵カード等の活用）

スケジュールを決め居室や利用する場所の清掃を定期的に支援した。職員と一緒に行う事で習慣化を目指すと共に掃除の仕方を学べるようにアドバイスした。

各ホームに職員が定期的に巡回し整容・清潔面の確認とアドバイスを行った。また、高齢化に伴い口腔ケアの必要な人が増え、通院やブラッシング支援が増えている。月1回の清潔検査時に爪切り、耳掃除と共に歯ブラシをチェックし交換すること等を追加し衛生面にも留意した。

② 食事の援助

利用者と一緒に調理、配膳、片付けを行うことに心がけ、一人暮らしの意向を持つ利用者に対し経験を積みスキルと自己意識を身に付けてもらえるように取り組んだ。

高齢化に伴い欠損歯の多い人が増え食事提供に注意や刻み食等の配慮が増えた。

また、嚥下機能の衰えからむせや喉つまりなど、食事中的見守りを必要とする人が増えた。

③ 健康管理

- ・ 健康観察

検温、血圧測定、月1回の体重測定等を実施し健康状態を把握。

- ・ 生活習慣病検診の実施（生活習慣病、歯科検診、婦人科検診）各種検診を行い、疾病の早期発見、予防に努めた。

- ・ 通院支援

本人単独で通院出来ない場合は付添いを行い Dr からの診断結果を確認し対応。

通院により遅刻・欠勤する場合には就労先、日中活動事業所に連絡し診療結果等の情報を共有している。

- ・ 服薬

障がい特性に応じ、飲み忘れ、飲み残しのないように個別に目印を付ける等して工夫した支援を実施。

まちなかホームの利用者についてはお薬カレンダー等を使用し自己管理できる様支援。

飲み残し防止のためオブラートの利用や1対1で見守りの必要な利用者も増えている。糖尿病の皮下注射が必要になった利用者に対して、職員見守りのもと自身で行えるように支援した。また、病気への認識が薄い利用者に対しては定期的に血糖値測定を行い病気治療への

意識付けを行った。

④ 余暇活動

- ・ 本人の主体的な自由行動を尊重し、必要に応じて適切な支援をおこなった。(プール利用、演劇鑑賞等)
- ・ 社会資源、地域移行に向けた情報の提供や手続きの手伝い。(オンデマンドタクシー、坂井市障がい福祉タクシー料金助成の活用)
- ・ 高齢化、障がい特性により買い物支援の個別対応も増えてきている。普及したセルフレジ、交通系 IC カード、ペイペイ決済等 キャッシュレス化のリスクについて具体的に説明しながら利用できるように職員が付き添い練習をおこなった。(令和 7 年度も継続)
- ・ 気候・天候に合わせた休日の外出支援に努めた。近年の異常気象を考慮し外出中の町内の見回り強化、体調確認、移動援助、帰寮後の健康確認を徹底した。

⑤ 地域移行支援

- ・ 1 人暮らしを目指す利用者に対して体験実習を行ったうえで具体的な居住先、引っ越し、関係機関との調整を行い令和 8 年 4 月実施に向け準備をおこなった。

防災計画

① 事業継続計画の運用

- ・ 避難訓練の実施

火災…全ホーム実施 (9 月 26 日、11 月 28 日実施)

水害…まちなかホーム (6 月 12 日実施)

地震…コミュニティ・そよかぜ (11 月 23 日実施)

具体的にホームに在籍している時間帯に実施し地域指定の避難場所まで世話人と共に移動した。

備蓄食、備品の点検・確認を行う。(9 月実施)

② BCP 訓練 (法人の訓練と連携)

- ・ 職員間の連絡体制を再確認した。

利用者動向

- ・ 令和 8 年 3 月現在の利用者状況

利用者平均年齢 60.6 歳、最高齢者 85 歳。

平均支援区分 3.75

- ・ 8 ホーム 合計定員 51 名 在籍者 49 名 (3 月現在)

- ・ 別表参照

令和7年度 コミュニティかすみ 活動報告

月	日	記 事
4	1～17	アセスメント・個別支援計画作成
	20	保護者会 総会・面談日
5	9	布団交換
	20	監事監査
	12	ボイラー点検
		そよかぜホーム 体験利用者受け入れ
	25	県障がい者スポーツ大会(ボーリング)利用者6名参加
	27	法人内部研修(虐待、身体拘束)
6	5	歯科検診
	7	県障がい者スポーツ大会(フライングディスク)利用者2名
	9～10	北陸地区知的障害者福祉協会 施設長会議(福井)
	25	高齢者・障害者虐待防止研修(県社協)小澤
	12	土石流災害避難訓練・火災訓練(法人)
	19	35歳以下職員検診
	19・20	まちなかホーム消防設備保守点検
	18・24	35歳以上職員検診
	23	地域連携推進会議
	27	まちなかホーム水害想定避難訓練
7	8	令和7年度「接遇研修(中堅者)」伊藤 県社協
	10～12	そよかぜホーム 体験利用者受け入れ
	28	BCP訓練
	2、3	強度行動障害者支援者養成研修(基礎) 中村
	17～18	北陸地区知的障害関係施設職員研修大会(石川) 橋爪
	28	要配慮者利用施設の避難訓練に係る講習会 前田
	14	福井県知的障害者福祉協会地域支援部会 前田
8	8	消防署立入検査
	19	施設内研修(コンプライアンス)
	27	県知的障がい者福祉協会施設長会議、県主管課と語る会
	27	生活習慣病検診(まちなかH利用者)
9	30～	相談支援専門員研修(初任者)
	26	まちなかホーム夜間避難訓練、コミュニティ、そよかぜホーム夜間避難訓練
	18～19	日本知的障害者福祉協会GH全国大会秋田大会(伊藤)
10	2	生活習慣病検診(利用者)
	3	坂井地区障がい児・者事例検討会(小澤、北井)
	4、17	県大実習生受け入れ
	16	働く人のための心の健康セミナー(坂井市社会福祉法人連絡会福ふく)
	19	保護者会面談(家族)
	22	福井県知的障害者福祉協会施設職員研修会(小林)
	26	まちなかホームレクレーション外出(金沢方面)

月	日	記 事
11	23	コミュニティ、そよかぜホーム レクレーション(祭)
	13	丸岡城落ち葉拾い(職員4名)
		強度行動障害者支援者養成研修(初任研)(小林)
	28	まちなかホーム 火災想定避難訓練
	23	地震想定避難訓練(コミュニティかすみ、そよかぜホーム)
	3	インフルエンザワクチン予防接種(利用者・職員)
	8~9	第38回全国自閉症支援者協会福井大会(橋爪)
	17	北陸地区地域支援部会・相談支援部会合同研修会福井(前田)
	24	クリスマス会
1	25	高齢対策チーム打合せ
2	14	県知的障害者福祉協会職員交流会(小澤)
	16	県知的障害者福祉協会加算勉強会(前田、古川)
	21	婦人科検診
3	1~	モニタリング・個別支援計画の見直し
	3	GHあり方チーム打合せ
	6	高齢対策チーム打合せ

毎月第3木曜日 コミュニティ会議・コミュニティ打合せ

毎月第4金曜日 世話人会議・まちなかホーム打合せ

毎月2回 厨房大掃除

毎月1回 利用者体重測定・血圧測定

利用者更新時期
に合わせ実施 モニタリング・個別支援計画の見直し

コミュニティかすみデータ

令和8年3月31日

	コミュニティ	そよかぜホーム	コスモスホーム	すだちホーム	めぶきホーム	つばさホーム	わたなべホーム	かすみホーム
定員	20	6	5	4	4	4	4	4
現員	19	6	5	4	4	3	4	4

年齢別人数・平均年齢	20歳未満	20～29	30～39	40～49	50～59	60～64	65～69	70～79	80～89	90歳以上	計	平均年齢	最年少	最高齢
男性		1	1	3	7	3	3	7			25	60.08	35歳	75歳
女性			1	6	4	2	4	5	2		24	61.2	33歳	85歳
合計		1	2	9	11	5	7	12	2		49	60.6		
コミュニティかすみ			1	4	4	1	4	3	2		19	62.25	33歳	85歳
そよかぜホーム				2	1			3			6	62	45歳	72歳
コスモスホーム			1	1		2		1			5	55.6	35歳	73歳
すだちホーム					1	1	1	1			4	63.5	57歳	69歳
めぶきホーム					1			3			4	68.5	58歳	75歳
つばさホーム		1			2						3	50.25	36歳	59歳
わたなべホーム				1	1		2				4	55	48歳	68歳
かすみホーム					2	1		1			4	61	54歳	71歳

障害支援区分	自立	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	合計(人数)	合計(区分)	平均
男性			3	5	13	2	2	25	95	3.8
女性		1	2	5	12	3	1	24	89	3.7
合計		1	5	10	25	5	3	49	184	3.75

支給市町	坂井市	あわら市	福井市	永平寺町	勝山市		大野市	鯖江市	越前市	越前町	南越前町	敦賀市	小浜市
	16	4	6	2	2		3		1	4		2	1
	美浜町	若狭町	池田町	大飯町									
	2	2	2	1									

日中活動場	ワークかすみ	ハーモニーかすみ	ライフかすみ	他就労事業	他生活介護	介護	一般就労	無	
男性	10	6		4			5		
女性	9	1	2	6		3	2	2	

西畑…ライフと霞の郷デイ
三浦…ライフと霞の郷デイ

